



変動地球共生学卓越大学院プログラムの海外研修を NY の国連本部や DC の世界銀行等で行いました (2022/8/29-9/4)

テーマ：国際防災、教育、ESD、SDGs、国連

会場：国連本部、国連日本政府代表部、国連開発計画 (UNDP)、世界銀行、NHK ワシントン支局ほか

URL：<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2022/09/news20220922-02-nydc.html>

2022年8月29日(月)～9月4日(日)に、本学変動地球共生学卓越大学院プログラムの海外研修を、米国ニューヨーク、ワシントン D.C.で実施しました。当研究所の小野裕一教授、村上清特任教授(客員)、原裕太助教(いずれも2030国際防災アジェンダ推進オフィス)が担当・引率し、本プログラムに参画する理学、工学、文学、情報科学の各研究科の大学院生6名(日本人2名、中国人2名、インド人1名、インドネシア人1名)が参加しました。また、坂本壮共同研究員(2030国際防災アジェンダ推進オフィス、パシフィックコンサルタンツ(株))、聴講生として岩手大学の大学院生1名も同研修に同行しました。

現地では国際連合(国連)本部、国連開発計画(UNDP)、国連日本政府代表部、世界銀行、NHK ワシントン支局等を訪問しました。石兼公博特命全権大使・国連日本政府常駐代表、児玉啓佑同代表部参事官、岡井朝子国連事務次長補・UNDP 総裁補兼危機局長、須賀正義国連本部広報局プレスオフィサー、世界銀行防災グローバル・ファシリティ(GFDRR)のZoe E. Trohanis氏(Lead Disaster Risk Management Specialist)、Frederico Pedroso 博士、秋山浩美博士、NHK の辻浩平記者・ジャーナリストらとは、国際課題への対処や種々の任務、キャリア等に関して、講演と貴重な意見交換が行われました。NHK の高木優ワシントン支局長、国連日本政府代表部の柴田朱里氏、世界銀行南アジア地域気候変動・災害リスク管理ユニットの鈴木さち博士(Junior Professional Officer)らにも、研修の実施にあたって多大なご協力を頂きました。

また、ニューヨークでは世界貿易センタービル跡地を訪れ、2001年9月に発生した同時多発テロ事件で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りしました。

渡航前には東日本大震災からの復興に取り組む岩手県陸前高田市において、地域(Local)と国際(Global)を繋ぐ1泊2日の事前研修を行い、帰国後の9月17日(土)には、当研究所にて参加学生による成果発表会を開催しました。発表会には上記担当教員ならびに本卓越大学院プログラムの中村美千彦教授(変動地球共生学教育研究センター長、理学研究科)、大沼和弘事務局長らが出席し、研修で得られた経験や知見を共有しました。本研修の様子は本学の全学 Web サイトでも紹介されています(前掲)。

文責：小野裕一、原 裕太(2030 国際防災アジェンダ推進オフィス)
(次頁へつづく)



UNDP 訪問、
岡井総裁補とのディスカッションの様子



国際連合日本政府代表部訪問、
石兼特命全権大使との集合写真



国連総会議場で
国連本部職員による説明を聞く参加学生



国連本部での
須賀氏とのディスカッションの様子



世界銀行防災グローバル・ファシリティ
(GFDRR) 訪問、集合写真



NHK ワシントン支局訪問、
辻記者とのディスカッションの様子



世界貿易センタービル跡地で
説明を受ける参加学生



参加学生による成果発表会の様子